

岡谷太鼓まつり

祭リ 8/13 tue
本祭リ 14 wed

諏訪盆地に轟く和太鼓の響き、諏訪の夏の風物詩として親しまれている岡谷太鼓まつりは今年で50周年を迎えます。節目となる記念すべき祭りを楽しんでいただけるように、岡谷太鼓まつりの始まりから、今年ならではの特別企画をご紹介します。



▲岡谷太鼓保存会メンバー

見どころは豪壮無比 三百人揃い打ち

受継いできたことをこれから先へ繋げていられるように。また、支えてくださる皆様と仲間に感謝の想いを込めて打たせていただきます」と、今年の揃い打ちへの意気込みを語ってくださいました。

岡谷太鼓まつりでは、毎年決められたテーマに沿って選曲をし、プログラムが構成されます。一昨年の48回のテーマは「継ぐ」、昨年49回は「磨く」、そして今年のテーマは新曲を受けて「脈々と築く」。演奏前のアナウンスで紹介される各曲の紹介をじっくり聞いてから演奏を聴いてみてください。より深い感動が味わえるはず。そしてやはり、この祭りの一番の見どころと言え、「三百人揃い打ち」。日本一を誇る直径2メートルの平胴太鼓を

市民の力で受継ぐ 太古の魂

毎年、帰省してきた人や観光客が集まるお盆の8月13日・14日の夜、岡谷の街に和太鼓の音が轟き渡ります。

岡谷市民だけではなく、諏訪地域さらには県内外からの観光客で賑わい、13万人を動員する大きな祭りに発展した「市民祭岡谷太鼓まつり」は50周年を迎えます。記念の年ということで、岡谷太鼓まつり実行委員会は数年前から準備を進め、「第50回市民祭岡谷太鼓まつり」を盛大に開催する予定です。

太鼓まつりの舞台となる岡谷市の歴史は古く、諏訪湖から伊那谷へと流れる天竜川の源に位置する緑と湖の街である岡谷市の開拓が始まったのは、数千年前の縄文時代にまでさかのぼります。戦国時代を経て、太鼓は領民の生活に育まれながら、神話と伝承と詩を伝えるものとして受け継がれてきました。

大阪万博後の昭和45年、岡谷市と岡谷商工会議所が中心となって、この歴史ある太鼓を伝承芸能にするべく「岡谷太鼓保存会」を結成し、地域活性化のために商業祭として「岡谷太鼓まつり」が始まりました。太鼓保存会は発足当初からの伝曲を守り継承しながら独自の曲も作るなどして、50年をかけて「岡谷太鼓を郷土芸能として発展させてきました。

現在、保存会には18チームの太鼓連が中心とした間口60mのメインステージで三百人が息を一つに合わせるのは至難の業。各連で日々練習を重ね、三百人揃っての練習は年にたったの2回しかありません。一発勝負の本番で三百人の熱い想いが弾け、太鼓の轟音が大地を揺るがします。今年の曲は前出の新曲「脈々」。天地を貫く豪壮無比の演奏をお聞き逃しなく。また、先日6月29日・30日に行われた世界和太鼓打ち比べコンテストの上位入賞者による演奏もあり、見どころ満載です。

観るだけじゃ つまらない！

商業祭としてはじまったこの祭りは、幅広い年代の人に、観るだけでなく、参加してもらえらるよう同時に様々な催しが企画されています。今年で第20回となる「MINAKOI☆わっさか」は、フリースタイル部門と流し踊り部門があるコンテストで、毎年お目当てのチームを楽しみにしている人も多い人気の催しです。

あり、子どもから大人まで、幅広い年齢層の約三百人の打ち手で構成されています。県内外での演奏活動にも積極的に参加し、太鼓の普及に努めています。

50周年記念鼓曲を 初披露！

太鼓で演奏する曲を「鼓曲」と呼びます。代々受け継がれてきた伝曲の他に、新たに作曲されるものもあります。御柱の年にだけ演奏する鼓曲もあります。それぞれの鼓曲には込められた想いがあり、打ち手はこれを太鼓で表現していきます。

今年の50回を飾る記念事業として、50回にふさわしい鼓曲を新たに作ろうという計画が3年前から始まり、平成29年に岡谷カノラホールで開催された「岡谷太鼓まつり50周年記念揃い打ち曲選考会」にて12連の太鼓連が競い合い、見事「信濃神龍会」による「脈々」がグランプリを獲得しました。

「時代は変わる。周囲も変わる。しかし、決して変わらないものがある。それは形あるものだけではない。見ることも触れることもできないものであったり、気付かないものであったり：しかし、たとえどんなに年月が経とうとも、それは決して、変わらない。先人の築き上げた想いを胸に、これからへとつなげていく」という想いが込められた鼓曲は、今年の三百人揃い打ちで、初披露されます。信濃神龍会代表の高宮翔さんは、「先人から

す。結果発表後のメインステージでは、参加者、観覧者全員がステージに上がって踊る「総踊り」で盛り上がります。その他、ダンス、太鼓など自由な演目で市民が参加できる「ふれあい広場」や、その場で参加できる「子ども太鼓教室」、街なかパレード（子どもパレード、長持ち、みこし）などが例年通り催され、小さい子どもからお年寄りまで、家族みんなで参加して楽しむことができる祭りとなっています。

もう一つの50回記念事業として、今年からは市内7つの小学校にて「小学生太鼓教室」が開かれています。11月までの間に順次行われ、未来の打ち手の育成に一役買っています。太鼓まつり実行委員会の担当者は、「市民の皆さんに支えられて、半世紀続けてこられました。これからの長い年月も続けていられるよう、ぜひ多くの打ち手のみなさんに育って欲しい」と語ります。新しい打ち手の登場にも期待したいところです。観るもよし、参加するもよし。一味違う今年の太鼓まつりに、ぜひ訪れてみてはいかがでしょうか。

昨年の様子から



▲MINAKOI☆わっさか 流し踊り



▲長持ちパレード



▲ふれあい広場

■主催：岡谷市・岡谷商工会議所・岡谷市観光協会・岡谷市区長会
■問合せ：岡谷太鼓まつり実行委員会 岡谷市郷田1-4-11
TEL 0266-23-2345 HP <http://okaya-taiko.jp/>
■会場：岡谷市イルプラザ広場 他

■時間
メインステージ：8/13・14 18時～21時(予定)
MINAKOIわっさか：8/13 フリースタイル 17時頃～21時(予定)
ふれあい広場：8/13 ふれあいステージ 15時頃～21時(予定)
子どもパレード・長持ち・みこし：8/14 12時～18時(予定)
8/14 流し踊り・フリースタイル 18時頃～21時(予定)
8/14 ふれあいステージ 16時頃～21時(予定)